



短歌甲子園 2010

第5回 全国高校生短歌大会

開催実施要項

(参加選手・引率者用)

平成22年 8月 20・21・22日
金 土 日

連絡・問い合わせ先：運営事務局

おもてなしプラザ運営協議会

〒020-0827 岩手県盛岡市鉦屋町3-10 八百倉町家内

電話 019-601-2468 FAX 019-601-2470

e-mail morioka_bp@sky.plala.or.jp

上記の電話は（盛岡ブランドショップ やおくら・盛岡ブランド認証商品取扱店）でお受けします。

営業時間 午前10時から午後5時

※営業時間内でも留守電で対応させていただく場合があります。

※お問い合わせの際、担当者に取り次ぎ、お返事までお時間をいただく場合があります。

お急ぎの場合 担当者 きんの金野 携帯 090-2973-4035



岩手県 盛岡市



もりおか 暮らし物語
MORIOKA BRAND



イオンは短歌甲子園を
 応援しています

1. 「短歌甲子園 2010」 スケジュール

月 日	時 間	内 容	場 所
8月20日 (金)	14:00	開会式・組み合わせ抽選	姫神ホール
	15:00	【団体戦】3題発表(1校につき2題) 引率者説明会	
	15:20	引率者・補欠選手ガイドツアー出発	渋民～盛岡
	19:00	【団体戦】2首投稿 ホテル着・解散	ツアーバス内
8月21日 (土)	8:45	選手集合 引率者ツアー出発	盛岡劇場
	9:00	【個人戦】2題発表・題詠	
	9:50	【個人戦】2首投稿	
	10:00	【団体戦】1次リーグ競技開始	
	13:00	【個人戦】参加者・観客による投票開始	
	17:30	【団体戦】1次リーグ競技終了	
	18:00	選手交流会	ホテル東日本
8月22日 (日)	8:45	選手集合	盛岡劇場
	9:00	【団体戦】決勝トーナメント1回戦題詠 【団体戦】敗者復活戦題詠(引率者・補欠選手は別室で待機)	
	9:30	【団体戦】決勝トーナメント1回戦	
	11:05	【団体戦】決勝トーナメント2回戦題詠	
	11:35	【団体戦】決勝トーナメント2回戦	
	12:40	【団体戦】準決勝題詠	
	13:05	【個人戦】公開決勝審査(決勝戦)	
	13:40	【団体戦】準決勝	
	14:15	【団体戦】決勝題詠	
	14:35	盛岡の短歌表彰式	
	14:45	【団体戦】決勝	
	15:00	閉会式・表彰式	
	16:00	解散	

2. 「短歌甲子園 2010」 競技方式および日程 (時系列)

【 第 1 日 目 8 月 20 日 (金) 】

■ 集合・移動

- 集合時間は 12:50 です。
- 集合場所は盛岡駅西口バスターミナルです。(10 ページ地図参照)
- バスに分乗して開会式会場「姫神ホール」へ向います(13:00 発)。盛岡駅からバスで 30 分程度です。車中、日程などについて説明があります。

■ 開会式会場「姫神ホール」

- 姫神ホールに到着後は 2 階の小ホールに学校ごとに荷物を置いて、1 階ホールへ移動して下さい。
- 開会式の会場座席には各校の名前の入ったプラカードが置いてありますので、該当する席にお座り下さい。
- 席には大会中に必要な備品や参加記念品などの入った袋が学校ごとに置かれていますので、選手に配布して下さい。
- 名札の名前などをご確認下さい。もし間違いがありましたら、スタッフへお知らせ下さい。

■ 開会式 (14:00 ~ 15:00)

1. スライド上映
2. 出場校・選手紹介
 - *各校ごとに選手名・引率者名を読み上げます。読み上げられたら座席から立ち、会場に一礼をお願いします。
3. 開会宣言 盛岡市玉山区長
4. 優勝杯返還
 - *前年度団体戦優勝校・武生高校の代表選手 1 名が優勝杯を持って登壇し、大会委員長に返還します。
5. 大会実行委員会会長挨拶 盛岡市長
6. 審査員紹介
7. 組み合わせ抽選
 - *各チームの代表者 1 名がプラカードを持ってステージ右側に登壇して下さい。
 - プログラムの名簿順に抽選を行い、団体戦 1 次リーグの組合せを決めます。
8. 選手宣誓
 - *武生高校の代表選手 1 名が登壇し、宣誓を行ないます。

■ 団体戦題詠ツアー (15:00 ~ 19:00)

- 団体戦の 1 チームは選手 3 人で構成されます。補欠選手は、団体戦に於いて選手が体調不良や事故などにより題詠や競技に出場できなくなった場合にのみ、大会事務局の承認を得て代理出場させることができます。従って、補欠選手は題詠ツアーや題詠会場に立ち入る事はできません。
- 選手は開会式終了後、荷物を持ってバスに乗り、盛岡市内の石川啄木ゆかりの地を訪ねて歌を詠む「題詠ツアー」に出発します。

- バスごとにガイドが付きますので、ガイドの指示に従って行動して下さい。
- 題詠は、3つの題のうち学校ごとに2題が書かれた題詠用紙が配布されますので、題詠ツアーの決められた時間中に、それに従って短歌を詠んで下さい。
- 選手一人が二首を詠むことになります。
- 題詠用紙には、競技の順番を示す「先鋒」「中堅」「大将」が記載されていますので、学校ごとに順番を決めてそれぞれの用紙に記入して下さい。
- 短歌は必ず三行書き、楷書で、大きくはっきり記入して下さい。
- 特別な読みをするものについてのみ、ふりがなをふって下さい。
- 歌を詠む際、選手同士が相談することは構いません。
- 題詠の際には、題詠カードと筆記用具のみを使用することとし、その他の持ち物（歌作集・辞書・ノートパソコン・携帯電話など）の使用は禁じます。辞書は大会事務局が用意したものを使用して下さい。（以下、決勝戦まで同様です。）
- 作品は全て題が与えられてから詠んだものを投稿して下さい。過去に詠んだ作品を持ち込んで書き写すなどの行為があった場合は、その時点で失格とします。（以下、決勝戦まで同様です。）
- 投稿時間（19：00）になったら、バスの中で各校ごとに題詠用紙を回収します。

■ 引率者説明会・補欠選手待機（15：00～15：15）

- 開会式終了後、引率者の皆さんは別室に移動していただき、大会についての説明を受けます。
- 補欠選手の皆さんは、荷物を持ってロビーで待機して下さい。

■ 引率者説明会・補欠選手ガイドツアー（15：20～）

- 引率者と補欠選手の皆さんは、説明会終了後、荷物を持ってバスでガイドツアーに出発します。
- 市内の啄木ゆかりの地を見学します。

■ 解散（19：00 予定）

- ホテル宿泊の選手・引率者・補欠選手はホテル前までお送りします。
- それ以外の選手・引率者・補欠選手については、盛岡駅前解散となります。
- 夕食は各自、自由にお取り下さい。（盛岡名物、飲食店などの情報については、ガイドまたはホテルフロントへご相談下さい。）

【 第2日目 8月21日（土） 】

■ 集合・移動

[ホテル宿泊者]

- 8：15にホテルロビー集合とします。
- 集まり次第、競技会場の盛岡劇場へ向けてバスで出発します。
- 盛岡劇場到着後、選手（補欠選手含む）はメインホールの学校名のプラカードが置かれている座席に着席して下さい。
- 引率者はガイドツアーに出発しますので、ロビーに集って下さい。

[ホテル宿泊者以外]

- 8：45に「盛岡劇場」集合となります。
- 盛岡劇場到着後、選手（補欠選手含む）はメインホールの学校名のプラカードが置かれている座

席に着席して下さい。

- 引率者はガイドツアーに出発しますので、ロビーに集って下さい。

■ 引率者ガイドツアー (8:45 ~ 9:55)

- 引率者はバスでガイドツアーへ出発します。
- 盛岡市先人記念館を予定しています。

■ 個人戦題詠 (9:00 ~ 9:50)

- 個人戦は、団体戦参加選手と補欠選手で行われます。
- 題二題が書かれた題詠用紙が配布されます。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。
- 短歌は必ず三行書き、楷書で、大きくはっきり記入して下さい。
- 特別な読みをするものについてのみ、ふりがなをふって下さい。
- 歌を詠む際、選手同士が相談することは構いません。
- 題詠の際には、題詠カードと筆記用具のみを使用することとし、その他の持ち物（歌作集・辞書・ノートパソコン・携帯電話など）の使用は禁じます。辞書は大会事務局が用意したものを使用して下さい。
- 作品は全て題が与えられてから詠んだものを投稿して下さい。過去に詠んだ作品を持ち込んで書き写すなどの行為があった場合は、その時点で失格とします。

■ 個人戦の審査

- 個人戦は、題詠により選手自ら作った三行書きの短歌の中から、審査員・大会・参加者・観客の投票、審査によって優秀作品を決定します。題を的確に捉え、かつ短歌として優秀な作品であるかどうか審査の基準となります。

【審査員による審査】

- 投稿された全作品について審査員が予備審査を行い、題ごとに選ばれた上位作品を、個人戦決勝進出作品とします。

【参加者／観客による投票】

- 全作品が、参加者・観客による投票の対象となります。
- 投稿された短歌は21日（土）13:00よりホール前に掲示されます。
- 掲示された短歌の中から、優れていると思われる短歌について、参加者・観客が投票を行います。
- 投票時間は、21日（土）13:00から16:30までとします。
- 投票用紙は開会式の際に備品や名札とともに配られています。他人への譲渡、貸与は禁じます。
- 投票集計の結果、上位作品を個人戦決勝進出作品とします。

■ 「もりおかの短歌（うた）」（自由投稿）（21日10:00 ~ 22日11:00）

「もりおかの短歌」とは、石川啄木の生まれ育った盛岡に集う人々（観光客や市民など）による短歌作りを通じて「短歌のまち もりおか」を推進するために、盛岡商工会議所などが平成20年度より実施している活動です。盛岡市内各所に「短歌ボックス」が設置され、投稿された応募作品の中から、各期間部門ごとに優秀作品10首が選定されます。22日14:35より表彰式が行われます。

会場にもこの「短歌ボックス」が設置されており、会期中、平成22年度投稿分として自由投稿することができます。投稿用紙は会場ロビーの短歌ボックス前に用意してあります。

■ 団体戦1次リーグ競技（10：00～17：30）

- 1次リーグは、参加チームを3チームずつの12ブロックにわけ、総当たり（1ブロック3試合）の競技を行います。
- 短歌の発表は、先鋒、中堅、大将の順に各チームから一人ずつが立ち、スクリーンに映し出された短歌を選手（作者）本人が読み上げて行います。白が先攻、赤が後攻となります。
- 審査は5名の審査員により行われ、その場で選手に短歌の背景などについて質問をします。
- 先鋒、中堅、大将ごとに、各審査員が優秀と思われる短歌を赤白のどちらかで示し、過半数の票を取った選手を勝ちとします。
- 2勝したチームを勝ちとしますが、2勝先取の場合でも大将戦は行います。
- 同じブロック内で同率勝敗の場合は、個々の勝数の多いチームを上位とします。勝数が同じ場合は審査員の票数の多いチームを上位とします。
- 一回の競技時間は入れ替え時間含め、12分程度です。
- 各ブロックの勝ちチームは決勝トーナメントに進出することができます。

■ 団体戦の審査

- 団体戦は、試合ごとの題詠により選手自らが作った三行書きの短歌の優劣によって勝敗を決定します。題を的確に捉え、かつ短歌として優秀な作品であるかどうか審査の基準となります。

■ 個人戦決勝進出者発表（17：30）

- 審査と投票によって選ばれた個人戦決勝進出者を発表します。
- 一題について6名、二題合計12名が発表されます。

■ 交流会（18：00～20：00）

- 会場は「ホテル東日本」3階「鳳凰の間」です。
- 歓迎演舞 岩手県立伊保内高等学校 郷土芸能委員会 江刺家神楽えさしかかぐら 『三宝荒神さんぼうこうじん』
- 学校対抗「わんこそば大会」を予定しています。
- 会場まではバスで誘導します。

■ 解散（20：00予定）

【 第3日目 8月22日（日） 】

■ 集合・移動

【 ホテル宿泊者 】

- 8：15にホテルロビー集合とします。
- 集まり次第、競技会場の盛岡劇場へ向けてバスで出発します。

【 ホテル宿泊者以外 】

- 8：45に「盛岡劇場」集合となります。

■ 団体戦決勝トーナメント1回戦題詠／敗者復活戦題詠（9：00～9：20）

〔団体戦決勝トーナメント1回戦題詠〕

- 1回戦不戦勝チーム2チームを除く決勝トーナメント進出チームに題が書かれた題詠用紙が配布されます。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。書き方は1次リーグと同じです。

〔敗者復活戦題詠〕

- 1次リーグ敗退チームの中から敗者復活戦によって2チームが決勝トーナメントに進む事ができます。
- 題が書かれた題詠用紙が配布されます。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。書き方は1次リーグと同じです。
- 敗者復活戦の審査は、審査員が別室で行い、決勝トーナメント進出校を決定します。

■ 引率者・補欠選手の方々（9：00～9：20）

- 引率者と補欠選手は、選手題詠中、別室にて待機をお願い致します。係が誘導します。

■ 団体戦決勝トーナメント1回戦（9：30～11：00）

- 1次リーグと同じ形式で競技・審査を行います。
- 1回の競技時間は15分程度で、1次リーグより質疑時間が若干長くなります。

■ 団体戦決勝トーナメント2回戦題詠（11：05～11：25）

- 決勝トーナメント1回戦で勝ったチームは、別室で題詠を行ないます。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。書き方は1次リーグと同じです。

■ 団体戦決勝トーナメント2回戦（11：35～12：35）

- 1次リーグと同じ形式で競技・審査を行います。
- 1回の競技時間は15分程度で、1次リーグより質疑時間が若干長くなります。

■ 団体戦準決勝題詠（12：40～13：00）

- 決勝トーナメント2回戦で勝ったチームは、別室で題詠を行います。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。書き方は1次リーグと同じです。

■ 個人戦公開決勝審査（13：05～13：35）

- 審査員推薦6作品と、投票により選ばれた上位6作品の12作品について、ステージ上で公開審査を行います。作者は登壇して、自分の作品を読み上げ、審査員の質問などを受けます。

■ 団体戦準決勝（13：40～14：10）

- 1次リーグと同じ形式で競技・審査を行います。
- 1回の競技時間は15分程度で、1次リーグより質疑時間が若干長くなります。

■ 団体戦決勝題詠（14：15～14：35）

- 決勝トーナメント準決勝で勝ったチームは、別室で題詠を行ないます。決められた時間内に題詠用紙に記入し投稿して下さい。書き方は1次リーグと同じです。

■ 「もりおかの短歌（うた）」表彰式（14：15～14：40）

- 受賞者を発表し表彰します。

■ 団体戦決勝（14：45～15：00）

- 決勝トーナメント1回戦・2回戦と同じ形式で競技・審査を行います。

■ 閉会式（15：00～16：00）

1. 主催者挨拶 盛岡市副市長
2. 特別審査員講評
3. 各賞発表
4. 表彰式

以下の各賞について表彰します。

[団体戦]

優勝・準優勝・第三位（2チーム）

審査員特別賞・話題賞

[個人戦]

最優秀作品賞・優秀作品賞・優良賞（3作品以内）

[全選手]

特別審査員 小島ゆかり賞 1名

団体戦・個人戦を通じて、最も優れた短歌の作者に与えられます。

石川啄木賞 1名

団体戦・個人戦を通じて、最も先鋭的な短歌の作者に与えられます。

5. 閉会宣言 団体戦優勝校大将

*団体戦優勝校大将の方は登壇し、「短歌甲子園2010」の閉会を宣言して下さい。

■ 解散

- 盛岡駅行きのバスに乗車予定の学校は盛岡劇場前から順次出発します。
- 交通機関を使わない学校については現地解散とします。

■ 注意事項

- 本大会で作られた短歌作品についての著作権は、主催者に帰属します。
- 本大会で作られた短歌作品の、他の公募型コンクールへの応募を禁じます。ただし、作者個人や各学校などの作品集やホームページ・ブログなどへの転載については、本大会で作られた作品である旨を明記のうえ、掲載することを認めます。
- 本大会中に撮影された映像や画像の公開は、個人のプライバシーを尊重した上、常識の範囲内で行って下さい。

3. 交通機関・宿泊・食事

■ 交通機関

【交通機関の予約について】

- 盛岡市内以外の各学校から短歌甲子園会場までの交通機関については、全てこちらで予約の手配を行い、各校宛にチケットを送付致します。対象となるのは、選手・引率者・補欠です。
- JR券に関しては手配の都合上、原則、大会当日も含め列車の変更はできませんのでご注意ください。
- JRを利用する学校は、予約の際に「JR学割証」が必要となりますので、7月末日までに人数分をまとめて下記へご送付下さい。

●学割証送付先

〒020 - 0127 岩手県盛岡市前九年2 - 5 - 1
株式会社トラベルマーケット 宛

【交通機関の費用について】

- 交通費は選手3名、引率者1名まで、1校4万円の負担金をお支払いいただき、残額については限度額を1人4万円として主催者側が負担します。
- 前年度優勝校と準優勝校については、全額を主催者側が負担します。
- 交通費は各学校の最寄のJR駅を基点とし、JR特急普通席または航空運賃などの安い方で計算します。
- 補欠、応援者については実費を参加者にお支払いいただきます。

■ 宿泊

【宿泊の予約について】

- 短歌甲子園に関する宿泊については、全てこちらで予約の手配を行い、各校宛にチケットを送付致します。対象となるのは、選手・引率者・補欠です。

【宿泊費用について】

- 宿泊費は選手3名、引率者1名まで、1校2万円の負担金をお支払いいただき、残額については主催者側が負担します。
- 補欠、応援者については実費を参加者にお支払いいただきます。

【前泊／後泊がある場合】

- 遠方からの参加の場合、交通機関の都合などによって、やむを得ず前泊または後泊が加わることがあります。その場合の宿泊費は主催者側の負担とし、詳細は個別にご連絡致します。

【前泊／後泊を希望する場合】

- 観光などの目的で前泊、後泊を希望する場合は、追加の宿泊費に付いては参加者側にお支払いいただきます。追加の宿泊費は一人一泊6,600円～9,000円（部屋タイプ・ホテルにより異なる場合あり）です。希望する学校は、7月20日までに事務局へご相談下さい。ただし、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承下さい。

■ 食事

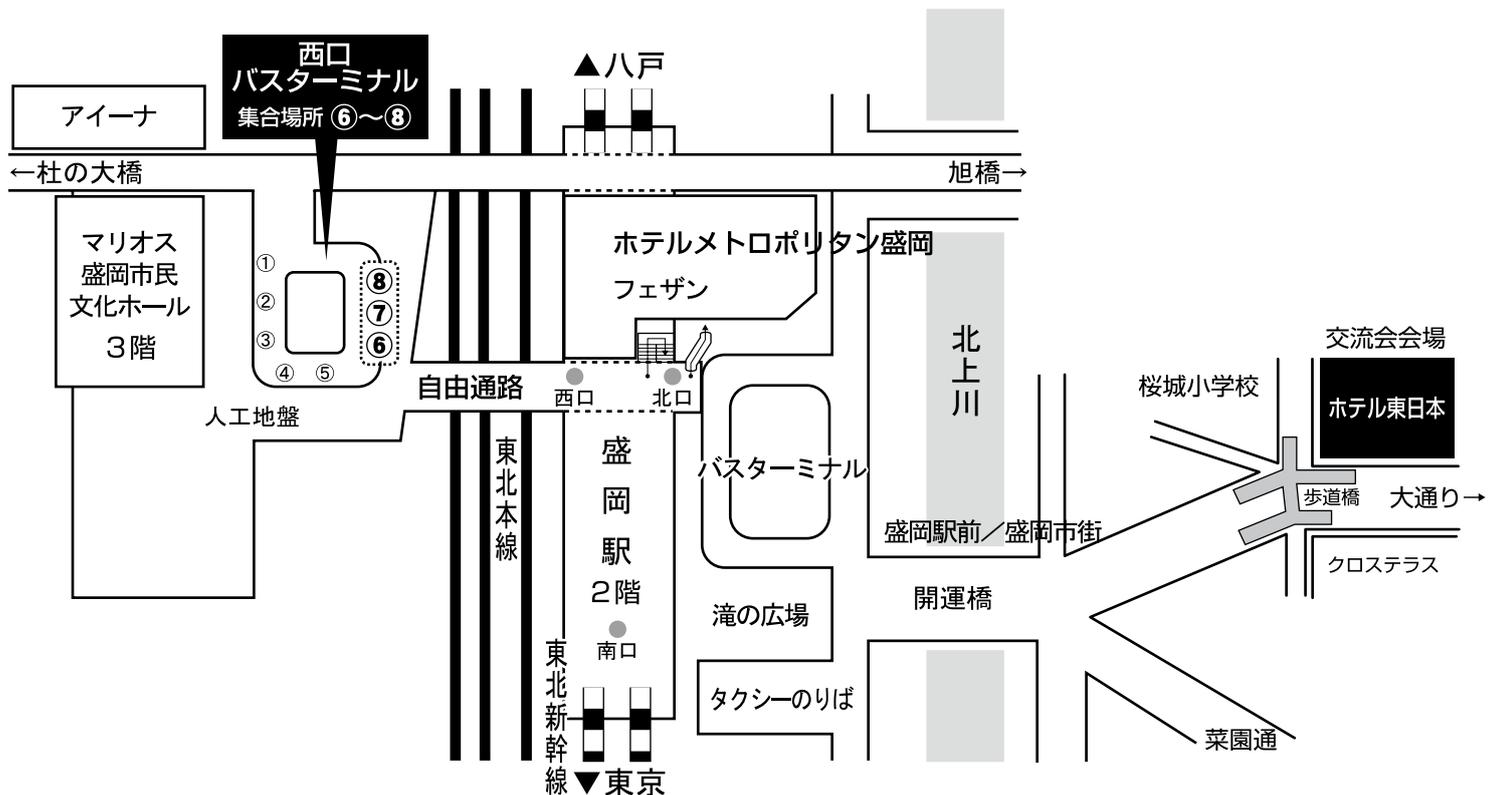
【 宿泊を必要とする参加校 】

- 選手3名、引率者1名、補欠1名までについて、2日目（朝食／昼食／交流会）と3日目（朝食／昼食）の食費を主催者側が負担します。
- 同行の応援者については、実費（3,000円程度）を参加者にお支払いいただきます。

【 宿泊を必要としない参加校 】

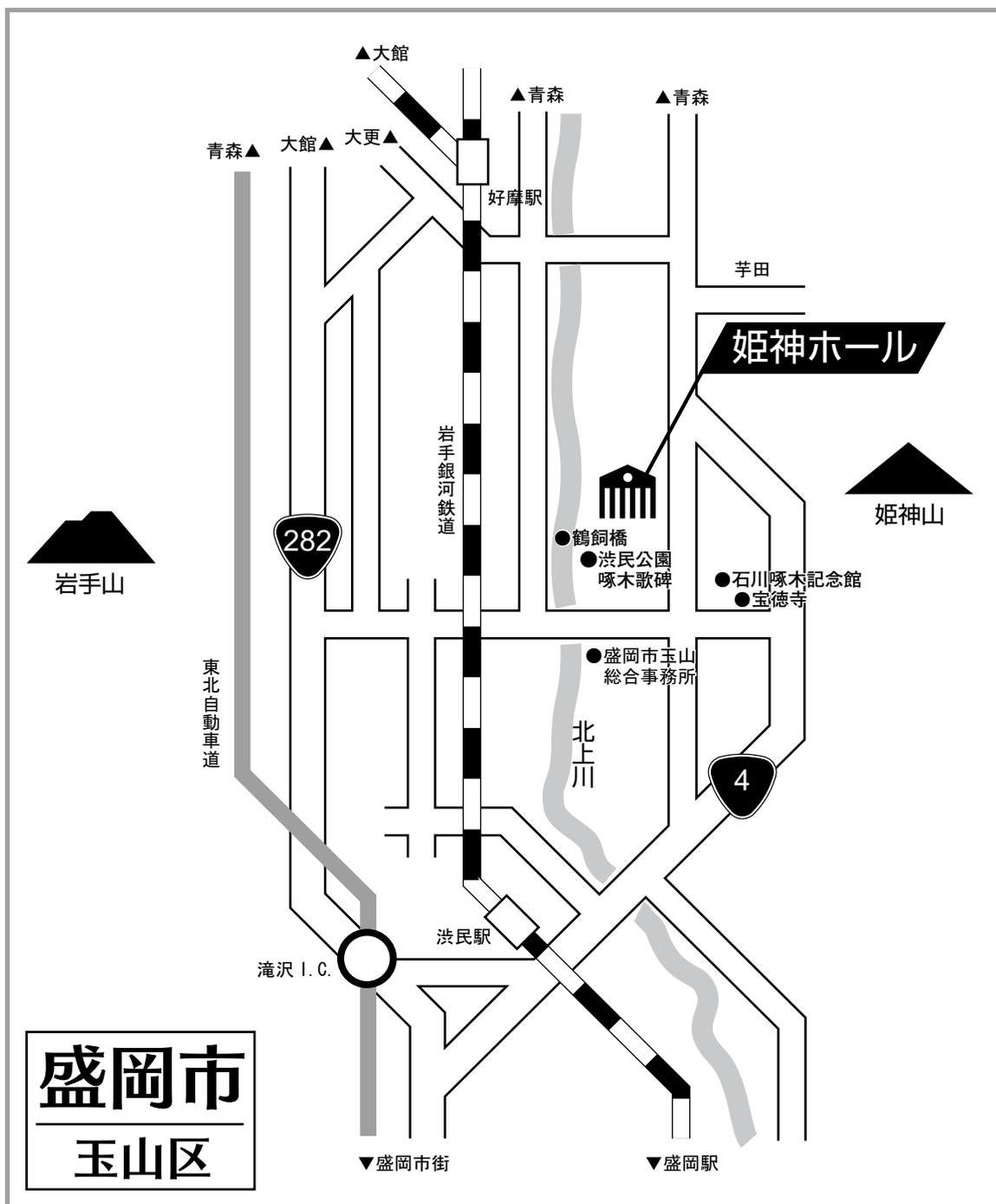
- 選手3名、引率者1名、補欠1名までについて、2日目（昼食／交流会）と3日目（昼食）の食費を主催者側が負担します。

4. 集合場所



* 西口バスターミナルへは、新幹線北口改札を出て、西口へ向かう自由通路をお通り下さい。

5. 開会式会場



6. 競技・閉会式会場



7. 審査員紹介

	氏 名	プロフィール
特別審査員	こ しま ゆかり 小 島	愛知県出身。早稲田大卒。コスモス短歌会選者・編集委員。産経新聞歌壇選者などをつとめる。若山牧水賞・迢空賞などを受賞。著書は、歌集「希望」「憂春」など9冊。ほかに評論集、エッセイ集、エッセイ集、入門書など。青山学院女子短大講師。歌人、迢空賞(06年)、牧水賞(01年)受賞
団体戦審査員	まつ だ しゅっ こく 松 田 十 刻	小説家
	そと だて かつ ひろ 外 館 克 裕	歌人、岩手中高校教諭、コスモス所属
	ぶん や あき 文 屋 亮	歌人、玲瓏所属、玲瓏緑珠賞受賞
	はし もと ひろ ゆき 橋 本 裕 之	盛岡大学文学部日本文学科教授
	と だて だい ろう 戸 館 大 朗	東北大学文学部学生、第2回短歌甲子園個人戦最優秀作品
団体戦・個人戦審査員	さ が なお き 嵯 峨 直 樹	歌人、短歌研究新人賞(04年)受賞、未来所属
	やま もと れい こ 山 本 玲 子	石川啄木記念館学芸員
	おさ ない つとむ 長 内 努	彫刻家、舞台美術家
	た なか たく や 田 中 拓 也	歌人、歌壇賞(99年)、花の心所属
	た ぐち あや こ 田 口 綾 子	早稲田大学大学院文学研究科修士生、早稲田大学短歌会所属
個人戦審査員	かしわ ざき きょう じ 柏 崎 驍 二	岩手歌人クラブ副会長、コスモス所属
	や えしま いさお 八重嶋 勲	岩手歌人クラブ副会長、歩道所属
	いち のへ ひこたろう 一 戸 彦太郎	岩手日報社編集局学芸部長



参加校選手一覧

都道府県名	学校名	選手名	引率者名(顧問)
1 北海道	函館市立函館高等学校	若林麻友	佐藤和範
		柳澤唯	
		澤田佳音	
2 青森県	八戸西高等学校	玉川千沙都	日山浩平
		日渡美保	
		秋山怜美	
3 岩手県	盛岡第一高等学校	下田真子	清藤祐貴雄 佐藤雅之
		高西良介	
		田村友	
		(補欠) 兼平優希	
4 岩手県	盛岡第二高等学校	高橋青羅	菊池陽
		中村瞳見	
		千葉頌子	
5 岩手県	盛岡第三高等学校	布谷大和	小田島綾
		砂子澤綾美	
		戸津友里	
		(補欠) 三好彩夏	
6 岩手県	盛岡第四高等学校	泉山若菜	中里美智絵
		佐々木萌	
		戸川和晃	
		(補欠) 伊藤大樹	
7 岩手県	花巻南高等学校	藤原沙也伽	かのと 史子
		浅沼明日香	
		佐々木京介	
8 秋田県	秋田高等学校	金森春香	くら 田 寛 行
		鎌田彩歌	
		佐々木さんご	
		(補欠) 奈良茉莉子	
9 秋田県	能代高等学校	野呂充志	のう 美 絵 理 子
		高橋龍二	
		浅野大輝	
10 秋田県	横手高等学校	尾久はなこ	とみ や みゆき
		佐藤悠	
11 山形県	長井高等学校	高橋理和紀	ふじ 原 洋 子
		五十嵐美咲	
		森美咲	
12 山形県	酒田東高等学校	鈴木智子	ます 子 和 子
		佐々木沙織	
		石井鈴夏	
		東海林結宇	

都道府県名	学校名	選手名	引率者名(顧問)
13	宮城県 けせんぬま 気仙沼高等学校	やま うち か ほ 山 内 夏 帆	い ずみ さち こ 和 泉 幸 子
		きく ち ま ゆ 菊 池 真 由	
		さ とう み ゆ 佐 藤 美 侑	
14	宮城県 なとりきた 名取北高等学校	かめ り か 亀 山 理 加	いし かわ ち はる 石 川 千 春
		かつ み さき 勝 見 美 咲	
		ます あすか 増 あすか	
		(補欠) たかはしりょうへい (補欠) 高橋 諒 平	
15	宮城県 こごたのうりん 小牛田農林高等学校	の だ ゆう か 野 田 祐 加	たか はし 橋 かおる 高 橋 かおる
		やま し じ れ な 山 路 怜 夏	
		ふく だ みず ほ 福 田 水 穂	
		(補欠) しらいりな (補欠) 白井 里奈	
16	宮城県 みやぎだいいち 宮城第一高等学校	かき りん 柿 崎 真 凜	かす や じゅん こ 粕 谷 淳 子
		ほやし ま ゆみ 林 真 弓	
		むかい だ が り 向 田 夏 伽 理	
17	宮城県 わくや 湧谷高等学校	くま がい み さと 熊 谷 美 郷	おの であら き よし 小野寺 基 好
		ひら つか ま ゆ こ 平 塚 真 優 子	
		さ さき み さ 佐々木 美 沙	
		(補欠) かとうなみ (補欠) 加藤 那美	
18	宮城県 りふ 利府高等学校	はや かわ こころ 早 川 こころ	さ さき せい 晶 佐々木 晶
		あ べ しやう こ 阿 部 聖 子	
		かつら しま さ ほ 桂 嶋 紗 帆	
19	宮城県 せい がくいんえいち 聖ウルスラ学院英智高等学校	よし だ ゆ き 吉 田 有 希	しお かい はる み 汐 海 治 美
		み しな ゆう こ 三 品 裕 子	
		はら や れい 原 谷 怜	
		(補欠) くまさかりな (補欠) 熊坂 理奈	
20	茨城県 ちゅうおう 中央高等学校	おお ず み さき 大 圖 未 沙 樹	おお はた めぐみ 大 畠 恵
		にい ほり はるか 新 堀 遥	
		く ぼ た ま ゆ 久保田 麻 友	
		(補欠) たかぎりほ (補欠) 高木 理帆	
21	茨城県 みと きりょう 水戸葵陵高等学校	やま もと さ や 山 本 さ や	おお く ぼ あ き 大久保 亜 紀
		すず き な つ え 鈴 木 奈 津 恵	
		はら だ ち あき 原 田 千 晶	
		(補欠) おおかわかほり (補欠) 大川 香保里	
22	茨城県 しもだてだいいち 下館第一高等学校	しま だ ひとみ 島 田 瞳	し みず じゅん こ 清 水 順 子
		ます ぶち え り 増 漕 絵 理	
		やま うち か おり 山 内 佳 織	
23	茨城県 ゆうきだいいち 結城第一高等学校	たね が し ま よう すけ 種子島 洋 佑	ため が い みさお 為我井 節
		すず き いく み 鈴 木 郁 美	
		かわ た ゆう き 川 田 祐 己	
		(補欠) こうたゆかこ (補欠) 幸田 祐加子	
24	茨城県 しもつまだいいち 下妻第一高等学校	そめ や めぐみ 染 谷 恵	なが きき けん いち 長 崎 賢 壹
		ちよう みず き 長 瑞 希	
		いい むら み さき 飯 村 美 咲	

	都道府県名	学校名	選手名	引率者名(顧問)
25	栃木県	やいたちゅうおう 矢板中央高等学校	とよぐちみか 豊口末香	みねなおひさ 三根直長
			むらゐり 室井香	
			とよぐちみか 豊口和美	
26	埼玉県	がっこうほうじんかいせいがくえん 学校法人開成学園 おおみやかいせい 大宮開成中学・高等学校	いしかわゆき 石川夕貴	にしのおいり ちづこ 西野入 千鶴子
			すずきみわ 鈴木美和	
			はやしかお 林佳織	
27	神奈川県	かながわそうごう 神奈川県総合高等学校	かいざわしゆんいち 貝澤駿一	もりとしき 森 俊樹
			たけだひろあき 竹田博亮	
			いしあや 石井彩	
28	山梨県	こうふみなみ 甲府南高等学校	ほんやままりの 本山まりの	ふるかわじゆんこ 古川 順子
			ないとうさき 内藤 瑠紀	
			てらもとももか 寺本百花	
			(補欠) 小野すみれ	
29	静岡県	がっこうほうじんかとうがくえん 学校法人加藤学園 ぎょうしゅう 暁秀高等学校	なかむらくみ 中村 玖見	かつまたふみこ 勝 俣 文子
			ふるはたけいすけ 古畑 恵介	
			ふじいみさき 藤井美咲	
30	岐阜県	ひだかみおか 飛騨神岡高等学校	かわかみあやか 河上彩花	のたあきこ 野田 晶子
			もりたえりか 森田 絵里加	
			みやもとなみ 宮本 奈実	
			(補欠) 河上琴美	
31	岐阜県	おおがきにほんだいがくがくえん 大垣日本大学学園 おおがきにほんだいがく 大垣日本大学高等学校	ほしもとまさゆき 橋本 昌幸	くにい いずみ 國井 泉
			みうらさきやこ 三浦 早綾子	
			うすいゆか 臼井 裕香	
32	富山県	うおつ 魚津高等学校	みやよしとる 三由 透	みつばやしあきこ 三 林 明子
			たぐちゆうすけ 谷口 祐亮	
			ほりいあや 堀井 亜耶	
33	福井県	たけふ 武生高等学校	みやのぞみ 宮崎 望	みねやまひでのり 嶺 山 秀法
			ろたかお 上 隆 夫	
			しらさきあこ 白崎 真亜子	
			(補欠) 武田楓	
34	福岡県	ふくおかかいせい 福岡魁誠高等学校	いわもとますみ 岩本 真澄	にしじまみちよ 西 島 三千代
			あべすみか 阿部 純花	
			ふるいひとみ 古井 ひとみ	
			(補欠) 上之園茉由子	
35	福岡県	すえ 須恵高等学校	ならさきゆま 櫛崎 由麻	なかにしひろこ 中 西 博子
			よしたけりょう 吉武 凌	
			よしむらももか 吉村 桃香	
36	福岡県	みいけ 三池高等学校	おおつななこ 大津 尚子	きもときょうこ 木 本 京子
			いしだえみ 石田 恵実	
			くろだま 黒田 真菜	